

令和5年度教育委員会事務局予算編成方針

1 令和5年度予算編成にあたっての考え方

教育大綱が掲げる基本方針「心を磨き可能性を引き出す彦根教育」を実現するため、学校教育、家庭教育、社会教育がそれぞれの役割を最大限に発揮するとともに、相互に連携・協働しながら、地域全体の教育力の向上を図ることをめざす。

教育委員会・学校と家庭・地域等が、次代を担う子どもたちを真ん中に据えて、先行き不透明な予測困難な時代を生きぬく力を育むという共通の目標に向かって、取組を進めていかなければならない。そのため、令和5年度においては、次の6項目を重点課題として、各種教育行政施策を推進する。

2 令和5年度重点取組

(1) いじめ・不登校の未然防止に向けた安全で安心な学校づくり

- ・子どもの健康、命、人権にかかわる諸課題へのきめ細やかな対応
- ・いじめ対策・不登校児童生徒支援の充実
- ・障害のある児童生徒、外国人児童生徒の教育的ニーズへの適切な対応

(2) 「非認知能力」を含めた「生きる力」としての総合的な学力の向上

- ・学校と社会がつながる協働的な学びの実現
- ・子ども主体の授業への転換
- ・本市の歴史、文化、偉人等をテーマとする課題解決・探究型学習の推進

(3) 社会教育の充実と家庭・地域の教育力の向上

- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- ・子どもたちの読書意欲の向上と読書習慣の定着
- ・社会教育施設における学習機会の充実、歴史や文化に触れる機会の創出

(4) 教育の質の向上を図る学校における働き方改革

- ・ICTの活用等による授業準備や校務の効率化
- ・教員業務支援員等の効果的な活用
- ・休日部活動の段階的な地域移行の推進

(5) GIGA スクール構想の推進

- ・ICT活用による授業改善と効果検証・分析
- ・学校ICT環境の活用支援の充実
- ・ICT活用による不登校、外国人、障害のある児童生徒のニーズに応じた学びの提供

(6) ウィズコロナを踏まえた教育行政の推進

- ・感染症対策の徹底と教育活動の継続
- ・感染拡大時のICT活用等による学びの機会の確保
- ・コロナにかかる差別・いじめ・誹謗中傷の防止